右の議案を提出する。

平

成

+

六

年

月

+

七

日

江 戸 Ш X 立 义 書 館 条 例 の 部 を 改 正 す る 条 例

提出者 江戸川区長

多

田

正

見

江

戸

Ш

X

立

义

書

館

条

例

 $\overline{\phantom{a}}$ 

平

成

五

年

 $\equiv$ 

月

江

戸

Ш

X

条

例

第

+

八

号

の

部

を

次

の

ょ

江 戸 Ш  $\overline{\mathsf{X}}$ 立 义 書 館 条 例 の 部 を 改 正 す る 条 例

う に 改 正 す る

別 表 別 第 表 第 \_  $\overline{\phantom{a}}$ 第 及 び 七 条 別 関 表

係

第

Ξ

を

次

の

ょ

う

に

改

め

る

付 帯 施 設 利 用 料 金

ャ西 葛 リーギ	付 帯 施 設						
一、九五〇円	午前九時~ 正午	午前の部					
二、二六〇円	時三十分 午後四午後一時~ 午後四	午後の部					
田〇十半、二	午後九時三十分~午後五時三十分~	夜間の部					
六、八八〇円	時三十分 午後九	全日					

## 備 考

理 上 中 支 間 障 時 間 が な  $\overline{\phantom{a}}$ しし 各 利 用 時 間 帯 れ の 間 の は 時 間 既 帯 を 利 ١J う 以 承 下 同 じ け L١ に 限 利 1)

۲

認

め

5

る

لح

き

に

の

認

を

受

て

る

用

時

管

間 を 繰 1) 上 げ 又 は 繰 IJ 下 げ て 利 用 す る こ لح が 用 で き る 0 こ の 場 合 に お L١ て

次

の

X

分

に

ょ

る

超

過

利

用

料

金

を

追

徴

す

る

L

た

額

لح

す

る

0

以

下

同

じ

0

1 の 額 正 に 午 百 か 円 5 未 午 満 後 の \_ 額 時 が ま あ で る لح 午 ㅎ 前 は の ` 部 そ の 規 の 定 百 円 利 未 用 満 料 の 金 額 の を 百 時 円 間 لح 相 当 し て 額 計

算

こ

種

別

利

用

料

金

 $\overline{\phantom{a}}$ 

時

間

単

位

五 兀  $\equiv$ 割 号 八 1 を そ お じ L١ 西 合 中 額 用 五 徴 利 れ 前 各 号 用 ぞ 午 て 葛 を λ 料 割 収 利 時 λ λ に の 西 乗 規 場 金 場 相  $\overline{\phantom{a}}$ 場 す 者 れ 用 間 後 ギ じ 料 当 兀 利 定 該 の 料 が 料 る が の 時 相 ヤ 当 等 当 用 て 利 七 等 額 等 場 λ 中 間 時 \_ Ξ 料 得 す 場 間 帯 ラ 用 の 割 の の 合 額 + 金 IJ 料 る は 料 は た 額 五 額 0 額 時 は ı 額 金 者 が 分 が 0 そ 間 分 \_ 次 が  $\equiv$ か は を 相 0 λ 次 の に 継 ` 当 5 の 第 円 場 続 加 لح の 他 係 こ \_ る L لح 算 あ 0 額 0 を 料 X 午 会 お 議 L る 号 0 0 超 等 分 れ 料 て 後 1) 室 た の の 0 0 え の に に 金 利 五 لح لح 額 規 円 円 類 を 用 時 は 額 ょ ` \_ ` に Ξ L 定 る 徴 す L を を す + て لح 超 超 差 利 収 る  $\neg$ の 0 る こ 利 す 規 え え 0 が 用 料 し 分 第 適  $\equiv$ る Ξ لح 用 る 定 用 0 あ 料 金 な ま ` لح す 円 号 利 る 金 が で を 61  $\overline{\phantom{a}}$ 0 受 用 き 0 以 以 で の る لح を こ 料 内 規 け 0 き 増 下 き 午 定 ع 金 る 規 0 ഗ は 徴 る 後 0 が に 場 لح す を 円 定 入 の 準 第 以 き そ る 場 こ で 合 利 部 Ξ 用 ㅎ 料 に 用 内 の の **ത** す る 号 お 料 の 規 最 等 場 規 لح ᆫ る に 61 金 定 高 合 定 定 き لح 利 こ て の 利 額 に め + L١ お の は 用 用 場 る 割 規 料 以 う L١ 料 合 増 第 相 下 て 金 定 金 は に 徴 当 利 ഗ 同 の

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□														別						
□ 人場料等の額が二、○○○円を超え三、○○○円以内のとき 規定 「前号の利用をすることができるものとし、当該単位にあっては、規定利用料金の五割を徴収する。 三(第七条関係) 一時間を超える利用時間については、三十分を単位として利用することができるものとし、当該単位にあっては、規定利用料金の五割を徴収する場合は、次の区分による利用料金を増収する場合は、次の区分による利用料金を増収する場合は、次の区分による利用料金を増収する。 三一○円 四一○日 四一○円 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 四一○日 一回 一回 一回 一回 一回 一回 一回 一回									視	音	集	集								
四一〇日 一時間を超える利用時間については、現定利用料金の五割を徴収する。 一時間を超える利用時間については、現定利用料金の五割を徴収する。 一時間を超える利用時間については、三十分を単位として利用することができるものとし、当該単位にあっては、規定利用料金の五割を徴収する。 一時間を超える利用時間については、現定利用料金の五割を徴収する。 一時間を超える利用時間については、現定利用料金の五割を徴収する。 一時間を超える利用時間については、現定利用料金の五割を徴収する。 四一〇日 一口日 四一〇日 一口日 四一〇日 一口日 四一〇日 一口日 一口日 一口日 一口日 一口日 一口日 一口日 一口	_		,	_	=	1.0	_	考	聴	楽	会	会			_	***	六	Γ		1
大場	Ц	ш	1		∓ıl				覚	室	室	室					÷ú	会	会	
場料等の額が一、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定     電の五割相当額が二、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定     場料等の額が一、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定         製料等の額が一、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定	λ		λ				時		室			第						議	議	
不明等の額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超えこ、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定の五割相当額が一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、											_	_						室	室	
等の額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定 のとし、当該単位にあっては、三十分を単位として利用することができるものとし、当該単位にあっては、三十分を単位として利用することができるものとし、当該単位にあっては、三十分を単位として利用することができる場合は、次の区分による利用時間については、三十分 1 日間単位) 四一〇円 四一〇円 2 日 2 日 3 日 3 日 4 日 4 日 5 日 5 日 5 日 6 日 7 日 7 日 8 日 7 日 7 日 8 日 7 日 8 日 7 日 8 日 8																				
の額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定 制相当額 の額が一、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定 制相当額 の額が二、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定 制相当額 の額が二、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定 の額が二、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定																			第	
額が1、000円を超え三、000円以内のとき 規定 を徴収する。 が1、当該単位にあっては、三十分を単位として利用時間については、三十分 の2の円を超え二、00円以内のとき 規定 利用料金の五割を徴収することができるものとし、当該単位にあっては、規定利用料金の五割を徴収することができるものとし、当該単位にあっては、規定 四一0円 四 一 四 一 四 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一																			_	
場合、一時間を超える利用時間については、三十分を単位として利用することができるものとし、当該単位にあっては、規定利用料金(一時間単位) 一、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定の日期 対金を増徴することができるものとし、当該単位にあっては、 見十分を単位として利用することを増して利用することを増して利用することを増して利用することを増して利用することを増して利用することを増して利用することを増して利用することを増して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用することを対して利用するとも対しても対している。	額		額		料	b							設							
会。 ・ 一時間を超える利用時間については、三十分を単位にあっては、規定利用料金(一時間単位) ・ 一時間を超える利用時間については、三十分 ・ 一時間を超える利用時間については、三十分 ・ 一時間単位) ・ 二一〇円 ・ 一一〇二 ・ 一一一 ・ 一一一 ・ 一一一 ・ 一一一 一一一 一一一	が	当	が		等	`	利								収	る	る			
日、一時間を超える利用時間については、三十分を単位にあっては、規定利用料金の五割を徴収するよこ、のののの円以内のとき 規定のの 日 別用することができるものとし、当該単位にあっては、 規定の 日 別 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	=	額	_		を	当	用								す	ت	場			
□ については、三十分を単位にあっては、規定利用時間については、三十分を単位にあっては、規定利用時間については、三十分による利用時間については、三十分の区分による利用時間については、三十分の円以内のとき 規定で で	`		`		徴	該	時									٢	合			
○ 円を超える利用料金(一時間単位) にあっては、三十分を単位として利用料金の五割を徴収す ここ、○ ○ ○ 円以内のとき 規定 の 日 ・	0		0		収	単	間								0	が	`			
円を超える利用時間については、三十分を単位として利用料金の五割を徴収すのとき、規定利用料金の五割を徴収するのカーのとき、規定であっては、規定であっては、規定であっては、規定であっては、規定である。	0		0		す	位	に									で	_			
を超える利用時間については、三十分を超える利用時間については、三十分を単位として利用料金の五割を徴収すっては、規定利用料金の五割を徴収す。 カー	0		0		る	に	つ									き	時			
超える利用時間については、三十分を単位として利用料金の五割を徴収すこのとも、	円		円		場	あ	11									る	間			
えこ、〇〇〇〇円以内のとき 規定 の の の とき 規定 別用 時間については、三十分を単位として利用 時間については、三十分 を単位として利用 対金の 五割を徴収す 一二一〇円 別 金を増収す で						つ										も				
							は													
、 の 規			え				`						利							
いる 一			_										用							
〇〇 分利を   日<													料							
〇 円 円													金							
円以内のの 月 五 利 のの 日 五 利 別 のの 日 五 利 別 のの 日 五 利 別 方 二 〇 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円																				
以 内 の 和 の し													<del>-</del>							
内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内																				
の の 用 五 て																				
と 料割利   き 金を用   た徴す 二一一   規規 増収る   定 円円円円																				
き 金 を 用 六 三 二 四 は 、 三 四   規 規 切 る 〇 〇 〇 〇 月 円<																				
を 徴す 二 一 一										_	_									
規 規 増 収 る	_		_							=	_	<u> </u>					Ξ	四	四	
定定なって、日田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	規		規															_	_	
																		0	0	
										רם	口	L						円	円	

規

定 2 1  $\overline{\phantom{a}}$ 説 を 消 に は る  $\overline{\phantom{a}}$ 0 利 改 費 明 こ 経 こ 施 め 税 用 過 行 施 の の 付 る 条 法 の 行 条 措 期 承 日 例 置 例 日 必 則  $\overline{\phantom{a}}$ に 要 昭 認 以 は が 和 を 後 ょ 受 平 に る あ 六 る + け 成 利 改 Ξ の て 用 正 + で 年 l١ す 後 る る 六 法 の 江 年 律 者 本 者 に 兀 戸 第 か 案 つ Ш 月 を 百 5 \_ 提 しし X 八 適 出 号 て 用 立 日 は ١١  $\overline{\phantom{a}}$ L 义  $\overline{\phantom{a}}$ ` ` 以 書 た の し 下 改 な 同 館 条 ま 正 お 日  $\neg$ に 従 例 す 前 施 伴 前 に 別 行 61 の 利 日 表 ` ᆫ 例 用 第 = لح 利 に す 用 ょ 及 l١ る び う 料 る 者 金 及 別 び 表 の 第 額 同 か に 日 Ξ 5 係 前 の 施 行 る に 規

定

す

既

八

λ

場

料

等

の

額

が

 $\equiv$ 

0

0

0

円

を

超

え

る

ح

ㅎ

規

定

利

用

料

金

の

+

割

相

当

額

用

料

金

の

七

割

五

分

相当

額